

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	森 啓子	学校名	白山市立松任中学校
教科（科目）・領域	外国語（英語）・道徳	対象学年（人数）	3 年 4 組（ 36 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2022 年 10 月道徳（1 時間）・外国語（1 時間） 12 月外国語（8 時間）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：Beyond Borders					
2. 実践する教科・領域：外国語（英語） 道徳・国際理解、国際貢献	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： 国を超えて助け合う大切さを知り、自分に何ができるのかを考える。 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。外国語（英語） 「その子の世界」と「私の世界」の違いを比べ、活動を通して、国際社会の問題解決について自分事として捉え、国際貢献しようとする態度を育てる。道徳（国際理解、国際貢献）					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	I wish I could (had) …, If I were … を用いた文の形・意味・用法がわかる。関係代名詞を用いた文の形・意味・用法がわかる。外国語（英語）			
	②思考力、判断力、表現力等	文章の概要をつかみ現実とは異なる願い事や架空の話について考えや気持ちを整理して書いている。外国語(英語) 世界の子どもたちを取り巻く現実を多面的・多角的に理解し、国際的視野に立って国際社会の問題について考えている。道徳（国際理解、国際貢献）			
	③学びに向かう力	国を超えて助け合いたいという気持ちを伝えようとしている。外国語（英語） 多様な国際情勢に目を向け、他国と日本との違いについて考えを深める発言や記述をしようとしている。道徳（国際理解、国際貢献）			
6. 単元設定の理由・単元の意義		【単元設定の理由あるいは単元の意義】 これからの中学生は、2030 年をゴールとして採択された SDGs（持続可能な開発目標）を見据えた「持続可能な世界」の担い手となる。外国語で自分の思いや考えを表現できることは、世界の人々と助け合って問題を解決するための必要不可欠な要素となる。また、様々なテーマについて外国語による思考・判断を繰り返すことで、グローバル社会の一員としての			

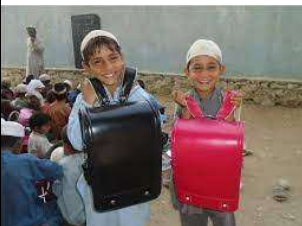
(児童/ 生徒観、 教材観、 指導観)	自覚や見識が深まり、高等学校以降の学びにもつながる。本単元を学ぶことによって、世界の実状を知り、国をこえて助け合う大切さを知ることができる。また、積極的に他者や世界とつながる心とコミュニケーション能力を身につけ、自分に何ができるかを考え、実行していく力を身につける。外国語としての単元に入る前に、道徳としての国際理解・国際貢献の単元を学習することによって、それぞれの教育活動が直接的、あるいは間接的に様々な関連をもち、相互に 関連し補充し合いながら、それぞれのねらいを達成することにより、全体として 教科の枠を超えたつながりの中で、中学校教育の目的や目標を達成することができる。 【生徒観】 本学級の生徒は、前期の授業アンケートで「英語が好きだ。」と答えた生徒は 80.7%いた。話し手を意識して聞いているかという問いに対しては、93.3%が肯定的な回答をしている。また、授業では課題の解決に向かってまちがいや足りないところを修正しながら学び合っているかという問いに対しては、80.6%の生徒が「そう思う。」「どちらかと言えばそう思う。」と回答しており、授業に積極的にかかわろうとしている姿が見られる。中でも、社会的事象についての関心度が高い生徒が多くみられ、SDGs に関しての授業にも興味を示している。ワークショップにも積極的に参加し、生徒同士のコミュニケーションも良く取れている。 【教材観】 本単元は、学習指導要領（３）話すこと [やり取り]「ウ 社会的な話題に対して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」（４）話すこと [発表]「ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。」ことを狙いとしている。 本単元は、国際協力や相互協力をテーマに、SDGs、フェアトレードにも目を向け、世界の現状を踏まえて、自分たちはどのようなことをすべきか、どのようなことができるかをクラスで話し合うことによって、国を超えて助け合う大切さを知り、自分にできることを発信することができる教材となっている。 言語材料として仮定法を取り入れ、世界の現状を踏まえて「もしも自分だったら・・・。」、と自分ごととして架空の状況について説明したり、国際協力について自分の感想や意見を相手に伝えたりする力を身につけるために適した単元である。 【指導観】 世界情勢について、聞いたり読んだりしたことについて自分ごととして考え、自分の意見に理由を添えて伝え合う力をつける。一人では、なかなか考えがまとまらない生徒に対してもグループワークやペアワークを行うことによって、生徒同士で教え合うことが身につけているので、全員が自分の意見を持ち、発信していく力をつけたい。また、本校のCAN－DOリストでは、「これまでの経験を振り返って、活動報告を発表することができる。」ことを設定しており、ミライシードなどのアプリケーションを利用して、生徒一人一人が自分の意見を発信できるように指導していきたい。		
7. 単元計画（全 2+8 時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
0	SDGs とは何かを確認し、各自が自分ごととして考え、何ができるかを発表する。（外国語）	17 の持続可能な開発目標の中から 2 つを選び、ペアでサマリーを発表 ダイヤモンドランキングを作り、理由を発表	ユニセフクラブ動画 JICA SDGs カード Worksheet

0	4 枚の写真を見て、世界の子どもたちを取り巻く現実について考えることを通して、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心を育てる。 (道徳)	4 枚の写真について、どんな写真かをグループで話し合う。 1 枚を選び、感じたこと話し合う。 グループの意見を全体で発表 世界の子どもたちの現実を知って思ったこと、考えたことなどを書く。	タブレット ワークシート
1	世界の子どもたちの気持ちを考え、現実とは異なる願い事について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりすることができる。 (外国語)	テキストの写真を見て Q.&A.と意見交換 SDGs 3,4,7,16 について学習 海斗とメグの会話を聞き、メモする。 key sentence (仮定法) 確認 I wish + S + V(過去形) 確認	国境なき医師団 H.P. 自分で写したスマトラ地震の時の写真 JICA SDGs カード
2 本 時	仮定法を使用し、自分だったらどのように国をこえて助け合いたいのかという気持ちを伝えることができる。 (外国語)	タイムマシンがあれば、どんなことをしてみたいかなど 言ったり書いたりする。 本文の内容を把握し、メグのボランティア活動についてのキーワードを参考に仮定法を使った文を作成する。	ドラえもん道具の絵 アフガニスタンの写真 (子どもたちの様子)
3	現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して伝えることができる。 (外国語)	リード文 listening 自分が好きな場所にいたとしたら？ 何をしたい？ If I were ～, I would … pair work→全体にシェア (相手の内容)	フェアトレードのパンフレット listening script JICA 世界地図
4	国をこえて助け合うことの大切さを理解し、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。 (外国語)	アフガニスタンの友人のお話 Q. & A.	ゲストスピーカー
5		現在の事実と反する仮定とはどういうことかを考える。 summary retelling, pair work 海斗が書いたメモを完成させる。 日本の食料自給率を表すグラフを選ぶ。 summary retelling making a summary sentence	ピクチャーカード (アフガニスタン)
6		Write a summary sentence key sentence 確認 どこでもドアがあれば、どんなことをしてみたいか、言ったり書いたりする。 SDG4 について考える。 summary writing サマリーの発表	JICA SDGs card ドラえもん道具の絵
7		世界の子どもたちが直面している問題 writing, Point of View アフガニスタン人ゲストのお話を思い出しながら自分の考えをまとめ関係代名詞を使った短文作成	ペシャワール会 中村医師の活動写真と会報
8	世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分ごととして考えたことを伝えることができる。 (外国語)	listening (世界の現状について) 興味・関心・疑問点などを話し合い、自分たちにできることやすべきことをノートに書く。 ・ I think that ～. ・ I was surprised to see that ～. ・ I was shocked to see that ～. Etc.	世界地図 JICA SDGs cards ワークショップ版 : 世界がもし 100 人の村だったら

8. 本時の展開 (概略)

本時のねらい：仮定法を使用し、自分だったらどのように国をこえて助け合いたいのか、どのようなボランティア活動をしたいのか、という気持ちを伝えることができる。

過程・ 時間	教師の働きかけ・発問および学習活動 T=teacher, S=student(s), Q=questions, A=answers	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
-----------	--	-----------------	---------

greet- ing (2 分)	Good morning, everyone. How are you? Q. day, date & weather ゲスト紹介 (JICA 北陸 開発教育支援事業 担当)	発話しやすい 雰囲気づくり	
導入 (2 分)	key sentence の確認 If I were you, I would ask my friends for help. 仮定法 (If + S + V(過去形, ...))		
展開 1 (15 分)	ドラえもん の絵を示して道具について Q. & A. T: Look at this picture. Who is this? S: Doraemon. T: Do you like Doraemon? S: Yes, I do. T: Doraemon has many tools. Do you know? S: Dokodemo-door, Moshimo-box, Anki-bread, ... T: If you were Doraemon, what tool would you like to use first? S1: I use time machine. T: Why? S1: I like Japanese history. I want to go to Edo era to help Nobunaga. T: That's nice. You can say like this, "If I were Doraemon, I would like to use the time machine to help Nobunaga." S2: I use lifeboat. T: Why? S2: Because I want to help people who are about to be swept away by the flood. T: You can say like this, "If I were Doraemon, I would like to use the lifeboat to save people." 「もし、私がドラえもんだったら・・・」 タイムマシンがあれば、どんな活動をしてみたいかなどを 言いあう group work ① 中間評価 group work ②	わかりにくそうにしている生徒を把握	ドラえもん と道具の絵 https://www.tvasahi.co.jp/doraemon/tool  ©国際協力NGOジョイセフ
展開 2 (8 分)	review Q.& A. で T: Are there any children who can't go to school in the world? S: Yes, there are. T: Do they have pens and notebooks? S: No, they don't. T: Who gave these backpacks to them? S: Japanese people did. T: Do you remember the subjunctive? S: Yes, I do. /No, I don't.	机間サポート 前時の授業内容を思い出させるように、生徒の反応を見て質問をする	 https://www.kuraray.co.jp/news/2021/211014_2

展開 3 (18 分) まとめ (5 分)	T: I can't go to school. S: I wish I could go to school. T: I don't have pens and notebooks. S: I wish I had pens and notebooks. Introduction (テキスト本文説明) Look at this picture. Kaito and Meg are talking about school backpacks which were sent overseas. Some Japanese groups collect backpacks and send them children in foreign countries. I'll give you 2 questions. Please read the conversation and find the answers. Q.1 What country are they talking about? Q.2 What are the other things that we can send to that country? A.1 S: They are talking about Afghanistan. A.2 S: I'll send towels / clothes / dishes. テキスト本文 ①listening, ②shadowing True or False の形式で内容確認 (T. から S. へ) checking the answers new words flash card (タブレット端末使用) 意味の確認と発音練習 reading the conversation (pair work) practice ①～③ (メグのボランティア活動) Make English sentences with keywords (キーワードを使って英文を作りましょう。) Q. & A. T: If you had the opportunity for international cooperation, what would you like to do for children? S1: If I could collect backpacks, I would send them to a developing country. S2: If I were a high school student, I would volunteer for an NGO during a long vacation. S3: If I were rich, I would send some picture books to some elementary schools in developing countries. S4: If I were a principal, I would introduce fair trade products in the school cafeteria. 振り返りと次回の予告 ゲストにお礼を言う	机間サポート	  振り返りシート
---	---	---------------	---

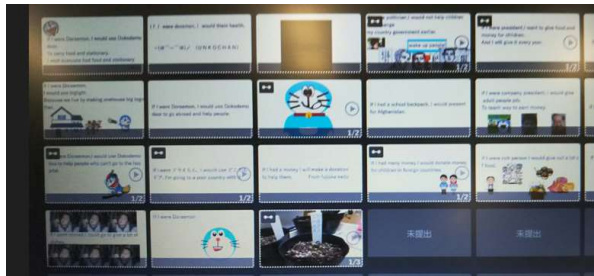
9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） <知識・技能> ・「仮定法」を使用して文を書いたり、伝えたりすることができる。 <思考・判断・表現> ・考えたことや感じたことを理由とともに、相手にわかりやすく伝えている。 <学びに向かう力> ・国を超えて助け合いたいという気持ちを伝えようとしている。
10. 学習方法および外部との連携 ゲストスピーカーの活用 ゲストスピーカーとして、アフガニスタンの友人に登場してもらおう。実際に開発途上国のようすを聞くことによって、紙面やテレビだけで起こっている問題を身近な問題として感じることができ、疑問点はその場で質問し、答えを聞くことができる。
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み ・学内で補欠授業に行くときは、自習でなく、学年に合わせて SDGs 授業をする。 ・修学旅行の振り返りとして作成したプレゼンテーションの英語版を SDGs の観点からまとめ、発表する。

【自己評価】

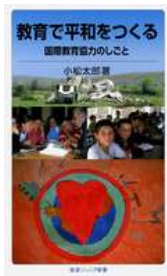
12. 苦労した点	英語専科講師として昨年度から今年度 1 学期まで勤務していた小学校では、SDGs に関する授業をよく行っており、校舎の所どころで 17 の目標のロゴなどが掲示されていたが、2 学期から勤務している中学校では SDGs に関わる掲示が見られない。その中で、まず SDGs に関する授業を行い、次に、指導案の内容へと入っていった。 ゲストとして来校予定だったアフガニスタン人が、仕事の都合で来校できなくなったため、現地の小学校と Zoom でつないで交流という形にできないかを交渉してもらった。現地は通信事情が悪く Zoom は使えないのでアフガニスタンでよく使われているアプリケーションを使って交信することになった。
13. 改善点	ドラえもんを通じて仮定法を学習するにあたって、「タイムマシンがあれば・・・。」や「どこでもドアがあれば・・・。」のようにドラえもんの道具を指定するのではなく、はじめから生徒に自由に考えさせるほうが、モチベーションが上がったので、後のクラスでは、ドラえもんの道具のカードを増やし、自由な発想で仮定法の英文を考えさせた。ペアワークを予定していた箇所のほとんどをグループワークにした。コロナ感染防止を考慮し、計画段階ではグループワークを減らしたが、コロナの影響などで欠席者が多く、知識・技能の観点から、グループワークを中心に授業を進めた。
14. 成果が出た点	世界には、学校に行きたくても行けない子どもたちがたくさんいることに驚いた生徒が多く、自分たちの日常が、世界では日常でない地域があるという気づきがあった。他にも心に落ちた点が多かった。社会科の内容や道徳の授業を取り入れながら、SDGs や本単元に入っていくことによって、教科横断的な授業ができ、生徒たちは「ほかの国や地域では、どうなのだろう。」という疑問や興味を持つことができた。普段はあまり感想を言わない生徒たちも、ふり返りの中で、食べ物を買うことができない人たちやお腹いっぱい食べることができない子どもたちなどについて書いていた。 I wish ～ や、If I were Doraemon, I would / could ～ の仮定法の表現については、どの

クラスも、ドラえもんカードを回しながら全員参加で活動ができた。普段は2～3分の時間を取るところを5分とし、何週も回ったことで、自分で手を挙げて発言しない生徒たちも、複数のセンテンスを作って考えをシェアしていた。

自分たちの日常がすべてではないことに気づき、開発途上国やSDGsについて考えようとする生徒が増えた。なかなか全員が自分ごととして考え、英語で意見を発表するところまでは到達しない生徒もいたが、各自がミライシード（オクリンク）で英文を作成していた。そして、何かできることをしたいという考えを持つ生徒が、授業前と後で、増えていた。



15. 学びの軌跡 (児童生徒の反 応、感想文、作文、 ノートなど)



左：「先生による読み聞かせ」の時間を利用して平和について学習

中央：道徳の授業をもらってSDGsのアウトランを学習

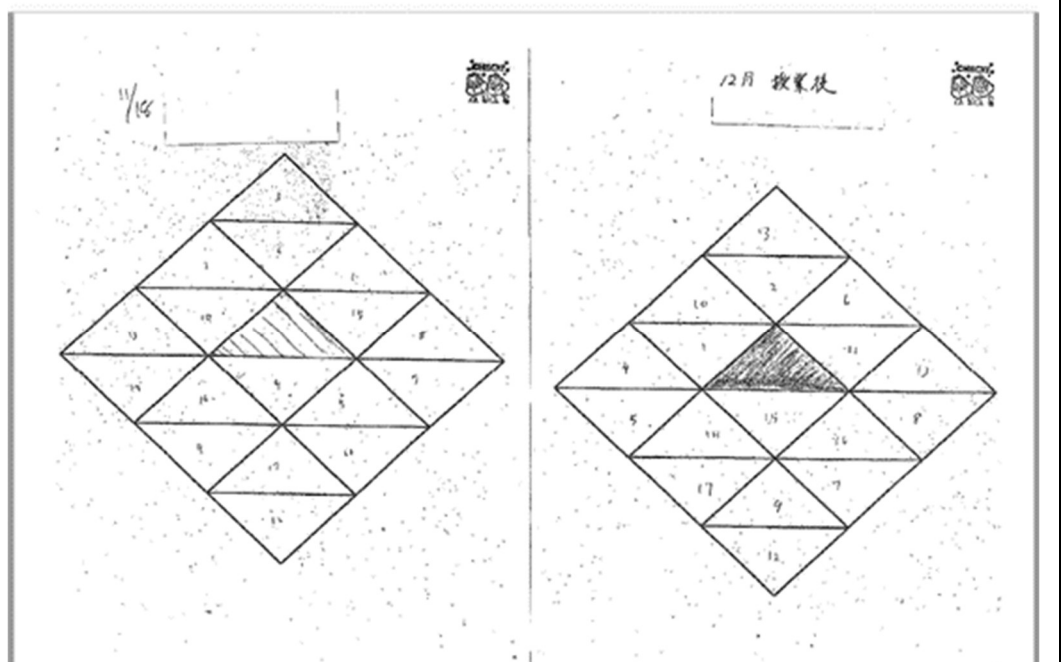
右：「100人の村の世界」アクティブラーニング

制服がどこ製かを見てみると日本製だったが、タブレット端末やセーターなどは外国（アジアの国々）製だった。そのほか、筆箱やノートなどがどこ製かを確認し、日本製のものがすべてではないことを自分で確認した。

生徒の振り返り

・道徳 「その子の世界、私の世界」





道徳の授業の振り返りとして、グループで **SDGs** の重要性について話し合い、各自がダイヤモンドランキングを作成し発表した。

さらに、外国語の単元のふり返しとして、グループで意見交換をしたあと、再度各自でランキングを記入した。

ほとんどのクラスで、

1 貧困をなくそう，2 飢餓をゼロに，3 すべての人に健康と福祉を
が上位を占めた。

ワークシート

- ① 4 枚の写真の中から 1 枚選び、感じたこと、考えたことを書きましょう。
- ② 同じ写真を選んだ人でグループを作り、意見交換をしましょう。
- ③ どんな意見や感想が出たか発表しましょう。
- ④ 世界の子供たちの現実を知って思ったこと、考えたことなどを書きましょう。

ふり返ってみよう（A～D 評価）

- 1 教材について興味をもって読めましたか？
- 2 自分の考えを伝えることができましたか？
- 3 クラスメイトの考えを聞くことができましたか？
- 4 授業の内容について、深く考えることができましたか？

A：意欲的にできた、

B：できた、

C：あまりできなかった、

D：できなかった

學習日 2022 年 9 月 22 日

- ① 144～145 ページの4枚の写真の中から、気になるものを1枚選びましょう。それについて感じたこと、考えたことを書き出しましょう。

選んだ写真: 6

感じたこと、考えたことなど。

くさくさ、健康にふさわしく、つなぐ、
あふれる笑顔

- ② 同じ写真を選んだ人でグループを作り、話し合おう。

グループの人の考えなど

環境にやさしい

- ④ どんな意見や感想が出たか発表しましょう。

- ① 世界の子供たちの現実を知って思ったこと、考えたことなどを書きましょう。

[illegible]

ふり返ってみよう

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 教材について、興味をもって読みましたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |
| 2 自分の考えを伝えることができましたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |
| 3 友達の考えを聞くことができたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |
| 4 授業の内容について、深く考えることができたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |

A: 意図的にできた B: できた C: あまりできなかった D: できなかった

NiO

cf18

25-1 その子の世界, 私の世界(絵巻書p.143~147)

學習日 年 月 日

- ① 144～145 ページの4枚の写真の中から、気になるものを1枚選びましょう。それについて感じたこと、考えたことを書きましょう。

通んだ写真 3

感じたこと、考えたことなど。

環境に害を、負い入る、お金を貯め
健康に害を、与え秋多し
学校に不評を、児童労働、明日を

- ② 同じ写真を選んだ人でグループを作り、話し合しましょう。

グループの人の考えなど

・健康に悪い : コウケン

- ② どんな意見や感想が出たか発表しましょう。

- ① 世界の子どもたちの現実を知って思ったこと、考えたことなどを書きましよう。

自分たちにはやむを得ない環境で毎日から思っていることが起きている。とてもかゆいところなので、どうやらついに癢いとおもった。でも、おれは、行動していかないとはいへないと思ひました。

ふり返ってみよう

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 教材について、興味をもって読めましたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |
| 2 自分の考えを伝えることができましたか? | ☐ A ☒ B ☐ C ☐ D |
| 3 友達の考えを聞くことができましたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |
| 4 授業の内容について、深く考えることができましたか? | ☒ A ☐ B ☐ C ☐ D |

A: 意欲的にできた B: できた C: あまりできなかった D: できなかった

112

C(18)

掲載に使用します。早急に書く書いて下さい。

[illegible]

図表に使用します。丁寧に書く書いて下さい。

先生の本の紹介・読み語りを読んでく2022年1月11日(金)

＜本の名前＞ 世界から100人の村へ

Q、本書の「読み語り」を聞いて、お母さん、お父さんはどんなことを聞いた、考えましたか？

1. センター・ジヤウ・カウ・見ると、少人数と思
いはれた。100人だとおどろき、意外に少
いからって、今更に懐かし、お父さん、
お母さんを見ていたと思ふ。

同じ島の先生方と雑談をしていた時に、AI の話題が出た。それで、ロボットについて質問したところ、「ドラえもんは最強」だと教えて下さった。四次元ポケットからひみつの道具を取り出して、いろいろ人助けをするらしいということがわかり、指導書も参考にしながら、ドラえもんを登場させて仮定法の授業をすることにした。「こんなふうだったらいいのに。」と仮定法現在の学習をするのにドラえもんを登場させながら指導案を練ることは、私自身興味深かった。当初、ほかのクラスで授業をさせてもらう予定だったが、「うちのクラスでよければ使って下さい。」というお言葉に甘え、指導案作成途中でクラス変更をした。初め予定していたクラスの生徒たちは、「一番目にあなたたちとこの授業をしたいんだけど。」という、快くデモを引き受けてくれた。すべての人に感謝！

参考資料：

- JICA 地球ひろば SDGs 教材/ゴール 1
<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs/l6rg58000000043h-att/goal01.pdf>
- “Smile for All in the World” あなたのやさしさを世界へ 「世界の笑顔のために」プログラム
<https://www.jica.go.jp/partner/smile/sekai.html>
- EduTown SDGs <https://www.edutown.jp/family/sdgs.html>